

第18回東京都障害者スポーツ大会実施要領

1 目的

この大会は、障害者がスポーツを通じて、自らの体力の維持増進及び社会への参加と相互の交流を促進させるとともに、都民の障害者に対する理解の増進を図り、もって障害者の自立の促進とスポーツ振興に寄与することを目的とする。

また、全国障害者スポーツ大会の派遣選手選考会を兼ねたものとして開催する。

2 主催

東京都

公益社団法人東京都障害者スポーツ協会

3 運営

第18回東京都障害者スポーツ大会実行委員会

4 後援（予定）

特別区長会、東京都市長会、東京都町村会、世田谷区、渋谷区、北区、板橋区、港区、江戸川区、練馬区、国立市、武蔵野市、(公財)東京都体育協会、(一社)東京都馬主会、(公財)東京都スポーツ文化事業団、(一財)東京都弘済会、(社福)東京都知的障害者育成会、(公社)東京都身体障害者団体連合会、(公社)東京都盲人福祉協会、(公社)東京聴覚障害者総合支援機構東京都聴覚障害者連盟、(社福)NHK厚生文化事業団、東京新聞・東京中日スポーツ、東京都発達障害支援協会、東京都立特別支援学校長会、東京都特別支援学級設置校長協会、東京都ろう学校長会、東京都盲学校長会、東京都肢体不自由特別支援学校長会、東京都知的障害特別支援学校長会、東京都知的障害特別支援学校PTA連合会、東京都公立小学校長会、東京都中学校長会、東京都公立高等学校長協会、(一財)東京私立中学高等学校協会、全国特別支援教育推進連盟、(社福)東京都社会福祉協議会、(公財)東京都公園協会、(公財)国際障害者年記念ナイスハート基金、(公財)日本チャリティ協会、(公財)日本社会福祉弘済会、日本オリンピックメダリストクラブ、(特)日本知的障害者陸上競技連盟

5 特別協賛（予定）

特別区長会、東京都市長会、東京都町村会、ライオンズクラブ国際協会330-A地区、(公財)東京都スポーツ文化事業団、(一財)東京都弘済会、(社福)東京都社会福祉協議会・東京善意銀行

6 協賛（予定）

(一社)東京都馬主会、(一社)身体障害者自立雇用協会、(株)日進産業、三菱商事(株)、税理士法人昴星、日本電気(株)、(株)三井住友フィナンシャルグループ、(公社)東京都宅地建物取引業協会、(一財)東京都弘済会、PwC Japan、(株)ウィンズ・インターナショナル、リーテイルブランディング(株)、(株)エイチ・アイ・エス、(株)CAC Holdings、(一社)東京都肢体不自由児者父母の会連合会、(有)東京エイドセンター、(株)東伸企画、(株)第一プリント、(社福)東京福祉会、(有)東京福祉企画、(株)グロリアツアーズ、名鉄観光サービス(株)、(一社)東京バス協会、京王自動車(株)、宮園自動車(株)、ミズノ(株)、(有)ロングライフ、(株)エヌ・ケイ・システム、(公財)日本チャリティ協会、(社福)はばたき、古内亀治朗商店(株)、(一社)日本クエン酸サイクル研究会、東京障がい者バドミントン連盟、東京福祉大学・大学院、二幸産業(株)、(株)大塚商会、(株)永田事務所、葉月システム(株)、(株)ラブキャリア、(株)日本能率協会総合研究所、東京メトロポリタンテレビジョン(株)、乃木坂ナイツ、錦城護謨(株)、東京ラーメンショー実行委員会、伊藤忠商事(株)、日本卓球(株)、(株)モルテン、(株)エバニュー、大塚製薬(株)、フットマーク(株)、トーエイライト(株)、ナガセケンコー(株)、(株)D&M、ナショナルハット(株)、AIU保険会社、学校法人帝京大学、(有)ジーワーク、東京都競馬(株)／東京サマーランド、(一社)東京都エルピーガス協会、富士瓦斯(株)、東京都国民健康保険団体連合会、(株)セントラルプラザ、ラムラショッピングセンター、(株)多摩流通、竹川観光(株)／かどやホテル、セノー(株)東京支店、(株)都政新報社、エアコンシステム東宏(株)、矢崎エナジーシステム(株)、理想科学工業(株)、コカ・コーライーストジャシ(株)、(株)シダーリンクトラベル、綾瀬燃料(株)、協立情報通信(株)、ヤマハ発動機(株)プール事業推進部東京営業所、(有)野々村商店野々屋、(株)フォレスト、(株)トリデ、(株)小山商会東京支店、(株)西村書店、(有)防災設備トップ、アイシャ産業(株)、千繪洞、とら屋事務(株)、(株)アペックス、(株)ジャパンビバレッジホールディングス、フルテック(株)国立営業所、(株)村田設備、(株)文正堂、(有)エックスワン、(株)草庵、(有)アーネストジャパン、(株)指田園、(株)松竹園、富士通信工業(株)、(有)原島管工、(有)丸善運動具店、フジノ工房、(有)ジャパン・リハビリテーション・エンジニアリング、光栄技建工業(株)、(有)多摩メンテナンス、石井電気通信(株)、(株)金子建設工業、長永スポーツ工業(株)、大都建設工業(株)、井上事務機事務用品(株)、杉岡電気管理事務所、日本エンドレス(株)、その他当協会会員

7 協 力（予定）

(公財)東京陸上競技協会、(公財)東京都水泳協会、東京都卓球連盟、東京都バスケットボール協会、(公財)東京都バレーボール協会、(公財)東京都サッカー協会、東京都ソフトボール協会、東京都アーチェリー協会、立川市水泳協会、国立市卓球連盟、東京都障害者フライングディスク協会、東京都障害者水泳連盟、東京都知的障害者ボウリング連盟、東京都車椅子バスケットボール連盟、東京都I Dバスケットボール連盟、東京身体障害者卓球連盟、東京都身体障害者アーチェリー協会、東京都知的障がい者サッカー連盟、精神障害者地域生活支援とうきょう会議、東京都特別支援学校体育研究会、東京都障害者スポーツ指導員協議会、日本ボーイスカウト東京連盟、(一社)ガールスカウト東京都連盟、日本赤十字社医療センター、国立病院機構東京医療センター、東京都立王子特別支援学校、北区手話通訳連絡所、世田谷区手話通訳等派遣センター、ミチル会、三菱商事社員ボランティア、(特)日本ライフセービング協会、健康向上企画、テイ・エステック労働組合、馬三バスケットボール同好会「リングコング」、わくわく2001、三菱商事建材(株)、八幡FDクラブ、つばさクラブ、日本体育大学生涯スポーツ学研究室、国立障害者リハビリテーションセンター学院、日本女子体育大学、東京女子体育大学・東京女子体育短期大学、国土舘大学、関東学生アーチェリー連盟、明治大学社会福祉研究部、明治大学身心障害者福祉会しいの実、共立女子大学社会福祉サークル、帝京大学初等教育研究会どんぐり、東京成徳大学BBSサークル、東京家政大学ヒューマンライフ支援センター、文京学院大学、帝京平成大学、立教大学、貞静学園短期大学、赤十字語学奉仕団、日本福祉教育専門学校、日本児童教育専門学校、彰栄保育福祉専門学校、首都大学東京、早稲田速記医療福祉専門学校、東京観光専門学校、成女高等学校、貞静学園高等学校、東京商科・法科学院専門学校、日本リハビリテーション専門学校、日本医学柔整鍼灸専門学校、臨床福祉専門学校、東京都立つばさ総合高等学校、日本大学第二高等学校水泳部、東京健康科学専門学校、東洋女子高等学校、東京都立総合工科高等学校、東京都立田無工業高等学校、日本女子体育大学附属二階堂高等学校、順天中学校 他

8 実施競技・会場等

別紙のとおりとする。

9 参加資格

出場選手は次の全ての条件を満たす者とする。

- (1) 身体障害部門は、身体障害者福祉法第15条の規定により、身体障害者手帳の交付を受けた者、あるいは、その取得の対象に準ずる障害のある者で平成29年4月1日現在中学生以上の者。
- (2) 知的障害部門は、厚生事務次官通知による療育手帳(愛の手帳)の交付を受けた者、あるいは、その取得の対象に準ずる障害のある者で平成29年4月1日現在小学生以上の者。
- (3) 精神障害部門は、精神保健及び精神障害者福祉に関する法律第45条の規定により、精神障害者保健福祉手帳の交付を受けた者、あるいは、その取得の対象に準ずる障害のある者で平成29年4月1日現在中学生以上の者。
※卓球競技については、精神障害者保健福祉手帳の交付を受けた者で平成29年4月1日現在中学生以上の者のみとする。
- (4) 原則として、都内に現住所を有する者。ただし、都内に所在する学校や障害者支援施設等団体に所属している者は、参加しても差し支えないものとする。(各部門共通)

10 全国障害者スポーツ大会参加

- (1) 平成29年4月1日現在で13歳未満の者及び「ぼうこう又は直腸機能障害」以外の内部障害者(以下「その他の内部障害」)は、全国障害者スポーツ大会の派遣選手の対象とはならない。
- (2) 身体障害部門で身体障害者手帳未取得者は、全国障害者スポーツ大会の派遣選手の対象とはならない。
- (3) 知的障害部門で療育手帳未取得者は、児童相談所・知的障害者更生相談所長の判定書の写し、在籍または卒業先の所属長による「取得の対象に準ずる障害」の証明書類の提出が必要となる。
- (4) 精神障害部門で精神障害者保健福祉手帳未取得者は、医療機関通院証明書または自立支援医療受給者証等「取得の対象に準ずる障害」の証明書類の提出が必要となる。また、精神障害部門の個人競技は、派遣選手の対象とはならない。
- (5) 全国障害者スポーツ大会申込時に都内に現住所(住民票のある地)を有する者とする。但し、都内に所在する学校や障害者支援施設に通学並びに入所、通所している場合は参加できる。
- (6) **個人競技の派遣候補選手は、第18回東京都障害者スポーツ大会個人競技申込書の全国大会参加希望欄で「あり」を選択した者より選考する。**

- (7) 派遣候補選手は、原則、練習会及び大会派遣期間の全日程参加できる者を選考する。
- (8) 派遣選手を選考は、当協会が設置する選考委員会で推薦選手を選考する。なお、選考方法等については、「選考規程」による。個人競技については、前年度選考され登録した者は、選考の対象とならない。
また、団体競技については、本大会を選考大会のひとつとする。
- (9) 第17回全国障害者スポーツ大会は平成29年10月28日(土)～30日(月)に愛媛県で開催される。東京都選手団は、10月26日(木)～31日(火)(予定)で派遣する。

11 健康管理

- (1) 健康管理には十分留意し、競技に際し健康上支障のない者とし、自己の責任において参加することとする。特に、参加にあたり自己の障害及び体調に不安がある場合は事前に医師に相談すること。
- (2) 主催者においては、応急の処置を除き一切責任を負わないものとする。

12 参加費

無料(但し、ボウリング競技においてハウスシューズを借用する場合は各自の負担とする)。

13 参加制限

(身体障害部門)

- (1) 同一日開催の競技については、双方に出場することはできない。
- (2) 陸上競技、水泳については、1人2種目まで出場することができる。

(知的障害部門)

- (1) 1人1競技かつ1種目とし、複数の競技(団体競技含む)へのエントリーはできない。但し、水泳については2種目まで出場することができる。
- (2) 陸上競技、水泳については、個人種目に加えてリレー1種目に出場することができる。
- (3) 陸上競技の400m走、800m走、1500m走は、400m走は2分、800m走は4分、1500m走は9分の参加制限タイム内で走れる者のみ出場することができる。
- (4) 陸上競技のリレー種目の申し込みは、各団体、男女各1チームのみとする。但し、特別支援学校は、中学部、高等部の各1チームが出場することができる。また、リレーへの出場は、陸上競技の他の種目にエントリーしている者に限る。
- (5) 水泳競技のリレー種目の申し込みは、混合100mフリーリレー、混合200mフリーリレーともに、各団体1チームずつ出場できる。但し、上記(2)により、選手はリレーの重複出場はできない。また、リレーへの出場は、水泳の他の種目にエントリーしている者に限る。
- (6) バスケットボール、サッカーについては、団体戦に出場しない者に対して、個人種目を実施する。

(精神障害部門)

- (1) 実施競技は、個人競技：陸上競技、卓球競技、フライングディスク競技、団体競技：バレーボール競技とする。但し、個人競技については全国障害者スポーツ大会の派遣選手を選考対象とはならない。
- (2) 同一日開催の競技については、双方に出場することはできない。
- (3) 陸上競技については、1人2種目まで出場することができる。

14 競技規則

平成29年度公益財団法人日本障がい者スポーツ協会編「全国障害者スポーツ大会競技規則」及び本大会「申し合わせ事項」を適用する。

15 表彰

(身体障害部門)

- (1) 個人競技については男女別、障害区分別及び年齢区分別に各種目(組)の3位までにメダルを授与する。
- (2) フライングディスク競技の表彰は、各組ごとの表彰とし、3位までにメダル、4位以下には敢闘賞を授与する。
- (3) 団体競技については3位まで表彰する。ただし、3チーム以下の場合、最下位は表彰しない。

(知的障害部門)

- (1) 個人競技については男女別、年齢層別に各種目(組)の3位までにメダルを、4位以下には敢闘賞を授与する。団体競技もこれに準ずる。

- (2) フライングディスク競技の表彰は、各組ごとの表彰とし、3位までにメダル、4位以下には敢闘賞を授与する。
- (3) 団体競技については3位まで表彰する。更に優勝チームについては、「原田之稔杯（対象：バスケットボール、バレーボール、サッカー）」、「能村藤一杯（対象：ソフトボール、フットベースボール）」を授与する。
- (4) スポーツの集いについては、リレー競技のみ3位まで表彰する。更に決勝レースの優勝チームについては、「安江末雄杯」を授与する。

(精神障害部門)

- (1) 個人競技については男女別、年齢区分別に各種目(組)の3位までにメダルを授与する。
- (2) フライングディスク競技の表彰は、各組ごとの表彰とし、3位までにメダル、4位以下には敢闘賞を授与する。
- (3) 団体競技については3位まで表彰する。

16 申込方法

- (1) 下記申し込み窓口または区市町村主管課等に配布されている所定の申込書に必要事項を記入し、「**参加に関する誓約事項**」に同意の上、**郵送または持参にて期限内に申し込むこと。FAXでの申し込みは受け付けできないので注意すること。**
- (2) 都外在住で都内に所在する学校・障害者支援施設・団体に所属している者は、その所属で団体申し込みを行うこと（個人での申し込みはできない）。
- (3) **所属は1人1団体（または個人）**とし、別々の団体から申し込むことはできない。
- (4) 団体として申し込む場合は、**団体総括表**に必要事項を記入し、参加申込書と一括して申し込みすること。
- (5) 学校、施設、団体は一括し郵送または持参にて申し込むこと。
- (6) 車椅子バスケットボール競技、グランドソフトボール競技、バレーボール競技（身体障害部門）、バレーボール競技（精神障害部門）、スポーツの集い（知的障害部門）、ボッチャ（身体障害部門）の申し込みについては、別途関係者に案内する。

17 申込期限

●個人競技申込①…**個人参加及び学校（特別支援学校・学級、一般校）、施設等団体の在籍者**
平成29年3月16日（木）必着

※(公社)東京都障害者スポーツ協会郵送の場合は、3月15日（水）の消印を有効とする

●個人競技特例二次申込②…**学校（特別支援学校・学級、一般校）や障害者支援施設の新入生・新規利用者**
平成29年4月13日（木）必着

※特例二次申込は**団体（学校、障害者支援施設）が統括して申し込むこと。個人での申し込みは受け付けない。**

※障害者スポーツセンター新規利用者及びクラブチームの新規加入を理由とした申込は特例二次申込では認められません。

※(公社)東京都障害者スポーツ協会郵送の場合は、4月12日（水）の消印を有効とする

●団体競技申込……平成29年4月13日（木）必着

※期限を過ぎた場合は、申し込みを受け付けることはできないので注意すること。

※団体競技の「**チーム構成表**」の修正締め切りは平成29年4月24日（月）**スポーツ協会必着**とする。

18 申し込み窓口

●公益社団法人東京都障害者スポーツ協会

〒162-0823 東京都新宿区神楽河岸1-1セントラルプラザ12階

※持参の場合は締切日の**17:00**までとする。

●東京都障害者総合スポーツセンター（北区）※持参のみ受付（締切日の**17:00**まで）

●東京都多摩障害者スポーツセンター（国立市）※持参のみ受付（締切日の**17:00**まで）

※期間中であっても、協会は土・日・祝日、センターは水曜日及び祝日の翌日は休業日のため受付できない。

※東京都障害者総合スポーツセンターは2月1日（水）～3月1日（水）迄閉鎖期間の為、3月2日（木）より、持参での申し込み受付を行う。

19 問合せ先

公益社団法人東京都障害者スポーツ協会 事業推進課

〒162-0823 東京都新宿区神楽河岸1-1セントラルプラザ12階

(分室) TEL 03(6265)6001 FAX 03(6265)6077

※FAXは問い合わせのみとし、申し込みは受付できないので注意すること。

20 その他

- (1) **プログラムには氏名・所属団体（個人参加の場合は在住地区名）・障害区分番号を記載し、参加者及び競技役員等に配布する。**適切な業務運営に必要と認められる目的以外に利用もしくは第三者への開示、提供は行わない。
- (2) 原則として、申し込み締切り後の記載事項の変更はできない。
- (3) プログラム等の発送は**平成29年5月18日（木）以降**とする。サウンドテーブルテニスおよびソフトボール競技は、5月10日（水）以降に発送する。
- (4) 予め申請を行い入場を許可された者以外は、審判並びに競技進行の妨げとなるので競技場内へは入らないこと。また、競技場内での撮影、応援は禁止する。
- (5) **大会の映像・写真・記事・記録など（氏名・年齢・性別・記録・肖像などの個人情報）が新聞・テレビ・雑誌・インターネット・パンフレットなどに報道・掲載・利用されることを承諾するものとする。**
- (6) 駒沢公園の駐車場確保が難しいため、公共交通機関または、大会シャトルバスの利用をお願いする。駐車場の使用は、車を使用しないと来場できない選手のみとし、選手の乗車していない車両の駐車は認めない。
必要な場合は事前に申し込みとするので、申込書備考欄に記入すること。
また、他会場は駐車場の確保は出来ないので、公共交通機関を利用すること。

21 附則

- 5月、6月開催分以外の下記の競技については、別途、実施要領を定め実施するものとする。
- ボッチャ競技
 - スポーツの集い
 - グランドソフトボール競技
 - バレーボール競技(精神部門)
 - 車椅子バスケットボール競技
 - バレーボール競技(身体部門)

(別紙)

競技	日程	会場
合同開会式	平成29年5月7日(日)	東京体育館 メインアリーナ
陸上競技(知的部門)	平成29年5月27日(土) 5月28日(日) 午前9時から午後5時	駒沢オリンピック公園総合運動場 陸上競技場
陸上競技(身体・精神部門)	平成29年6月3日(土) 午前9時から午後5時	駒沢オリンピック公園総合運動場 陸上競技場・補助競技場
水泳(身体・知的部門)	平成29年5月27日(土) 5月28日(日) 午前9時から午後5時	東京都多摩障害者スポーツセンター プール
卓球 (身体・知的・精神部門)	平成29年5月27日(土) 午前9時から午後5時	駒沢オリンピック公園総合運動場 体育館
サウンドテーブルテニス (身体部門)	平成29年5月21日(日) 午前9時から午後5時	東京都多摩障害者スポーツセンター 集会室
フライングディスク (身体・知的・精神部門)	平成29年5月27日(土) 午前9時から午後5時	駒沢オリンピック公園総合運動場 陸上競技場
アーチェリー(身体部門)	平成29年6月4日(日) 午前9時から午後5時	江戸川区総合体育館 アーチェリー場
ボウリング(知的部門)	平成29年5月27日(土) 午前9時から午後5時	東京ポートボウル
バスケットボール (知的部門)	平成29年5月27日(土) 5月28日(日) 6月 3日(土) 6月 4日(日) 午前9時から午後5時	王子特別支援学校 体育館 板橋区立小豆沢体育館 室内競技場
バレーボール(知的部門)	平成29年5月28日(日) 午前9時から午後5時	駒沢オリンピック公園総合運動場 体育館
フットベースボール (知的部門)	平成29年5月27日(土) 午前9時から午後5時	駒沢オリンピック公園総合運動場 軟式野球場
ソフトボール(知的部門)	平成29年5月21日(日) 午前9時から午後5時	光が丘公園野球場
サッカー(知的部門)	平成29年5月28日(日) 6月 4日(日) 午前9時から午後5時	駒沢オリンピック公園総合運動場 第二球技場・補助競技場・軟式野球場
バレーボール(身体部門)	平成30年2月10日(土) 午前9時から午後5時	東京体育館 サブアリーナ
グランドソフトボール (身体部門)	平成29年11月19日(日) 午前9時から午後5時	武蔵野中央公園スポーツ広場
バレーボール(精神部門)	平成30年1月24日(水) 午前9時から午後5時	東京体育館 メインアリーナ
車椅子バスケットボール (身体部門)	平成30年1月28日(日) 午前9時から午後5時	武蔵野総合体育館 メインアリーナ
スポーツの集い(知的部門)	平成29年9月13日(水) 午前9時から午後5時	東京体育館 メインアリーナ
ボッチャ(身体部門)	平成29年7月22日(土) 午前9時から午後5時	東京体育館 サブアリーナ